

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		産業用地整備事業		課名	工業課	事業No.	222
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
法令・例規等							
事業目的	対象	新たな産業用地					
	意図	企業誘致（企業の地方移転・研究開発型拠点の機能強化）や新規立地に向けた基盤整備					

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	(仮称)龍江インター産業団地計画地において、第1造成地に続き第2造成地及び周辺道路の整備手続きを進めました。今年度より実施する予定の工事については、公共事業におけるリニア発生土の活用による事業費の削減の検討とスケジュールの見直しを進めました。工事については令和3年度以降で実施することとしたため、今年度は自然環境調査等の調査業務のみを実施しました。		産業用地調査業務委託料				858				
			その他の経費				0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	産業団地整備面積	ha	0.25	0.25	0.7	0	3.9	0.7	3.24	0	
2年度決算(千円)	予算額	1,780	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	858									
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	858										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	12	3	1,780	858	産業用地整備事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	課題となっていた事業費の増加については、リニア発生土の活用による事業費の削減に向けた調整を行うことができました。一方で第2造成地の工事開始時期が令和3年度へ延期となり、産業団地の完成は令和4年度となる予定です。当初の計画から完成が遅れていることから、これ以上のスケジュールの遅れが出れば企業誘致活動への影響が懸念されます。								
上記の課題解決のための有効策	造成工事がスケジュールどおり進捗するように関係者や関係機関等と調整を進めていきます。								
次年度に向けての取り組み	第2造成地等の造成工事に向けた各種手続き、地権者、JR東海等との調整を進め、計画的に事業を進めます。また、自然環境調査を実施し、周辺環境へ配慮した事業を行います。								